



静岡県公立大学法人

静岡県立大学

2023年度 第10期

ジャーナリズム公開講座

静岡県立大学ジャーナリズム公開講座は2023年度、全14回の講座を開講します。

講座の目標は「ジャーナリズムの向上による民主主義の成熟」です。

現在、日本ではジャーナリズムの位置付けが希薄で、とりわけ専門知識が問われる安全保障、危機管理、科学技術分野においては、十分な検証能力を備えていない印象さえあります。

そのような日本の現状を打開し、日本と静岡の安全と繁栄を確かなものになりたい。

それが、本公開講座のねらいです。



オンライン配信 (Zoomウェビナー)

参加無料

どなたでもお申込みいただけます。

※要事前申込 先着100名様

2023年4月～2024年3月

全14回 18時30分～20時30分 開催

目 程	テーマ	講 師	※略歴は裏面に記載
①	4月20日(木)	ロシア・ウクライナ戦争1年	高橋杉雄 (防衛研究所防衛政策研究室長)
②	4月27日(木)	2050年のメディア	下山 進 (ノンフィクション作家)
③	5月25日(木)	ウクライナをめぐるナラティブ戦争	小泉 悠 (東京大学専任講師)
④	6月8日(木)	ウクライナから見た「平和」の条件	東野篤子 (筑波大学教授)
⑤	6月22日(木)	中国軍はウクライナ戦争をこう見ている	渡部悦和 (元陸上自衛隊東部方面総監)
⑥	7月20日(木)	8月ジャーナリズムの読み方	米倉 律 (日本大学教授)
⑦	8月24日(木)	電通に忖度する大手メディアの実態	本間 龍 (ノンフィクション作家)
⑧	9月28日(木)	ウクライナ戦争が変えたドイツと NATO	岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)
⑨	10月26日(木)	危険地報道の意義とフェイク	須賀川拓 (TBS テレビ中東支局長)
⑩	11月16日(木)	現代世界の戦争と日本外交	篠田英朗 (東京外国語大学教授)
⑪	12月21日(木)	台湾政治の報道と実態	劉 彦甫 (東洋経済新報社解説部記者)
⑫	1月25日(木)	今年の北朝鮮	磯崎敦仁 (慶應義塾大学教授)
⑬	2月22日(木)	選挙は楽しく、素晴らしい	畠山理仁 (フリーランスライター)
⑭	3月21日(木)	オープンジャーナリズムの成果と課題	堀 潤 (ジャーナリスト、8bitNews 代表)

▶申込方法 グローバル地域センターのウェブサイトから各回の案内にしたがって
ウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。

<https://www.global-center.jp>

▶お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター



Tel:054-245-5600 E-mail:nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp(担当:西)

第 1 回
4 月 20 日

ロシア・ウクライナ戦争 1 年

1997 年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。2006 年ジョージワシントン大学大学院修士課程修了。97 年より防衛研究所。防衛省防衛政策局防衛政策課戦略企画室兼務などを経て、2020 年より現職。核抑止論、日本の防衛政策を中心に研究。著書に『現代戦略論』、共著『ウクライナ戦争と激変する国際秩序』、共著『核の忘却の終わり』、編著『新たなミサイル軍拡競争と日本の安全』など。



高橋杉雄
防衛研究所
防衛政策研究室長

第 2 回
4 月 27 日

2050 年のメディア

1986 年早稲田大学政治経済学部政治学科卒。93 年コロンビア大学ジャーナリズム大学院国際報道上級課程修了。文藝春秋で長くノンフィクションの編集者を務めた。2018 年より慶應義塾大学総合政策学部特別招聘教授として調査型の講座を開講、成果を翌年『2050 年のメディア』として出版。著書に『アメリカ・ジャーナリズム』、『勝負の分かれ目』、『アルツハイマー征服』、『2050 年のジャーナリスト』。『2050 年のメディア』に新章「新聞 vs. プラットフォーマー」を加え、文春文庫より 4 月 5 日刊行した。



下山 進
ノンフィクション作家
上智大学非常勤講師

第 3 回
5 月 25 日

ウクライナをめぐる
ナラティブ戦争

1982 年千葉県生まれ。早稲田大学社会科学部、同大学大学院政治学研究科修了。政治学修士。民間企業勤務、外務省分析員、ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所客員研究員、未来工学研究所研究員などを経て 2019 年、東京大学先端科学技術研究センター特任助教、22 年、同専任講師。ロシアの軍事・安全保障を専門としており、ロシアの軍改革、ハイブリッド戦略、核戦略、宇宙戦略などに詳しい。著書に『ウクライナ戦争』、『ロシア点描』、『現代ロシアの軍事戦略』、『「帝国」ロシアの地政学』（サントリー学芸賞）など。



小泉 悠
東京大学専任講師

第 4 回
6 月 8 日

ウクライナから見た
「平和」の条件

1971 年生まれ。専門は国際関係論、ヨーロッパ国際政治。慶應義塾大学法学部政治学科卒、同大学院法学研究科政治学専攻博士課程を単位取得退学、英バーミンガム大学大学院政治・国際関係研究科博士課程修了 (Ph.D.)。OECD 日本政府代表部専門調査員、広島市立大学准教授、筑波大学准教授などを経て 2022 年から現職。23 年 4 月からオーストラリア国立大学ヨーロッパ研究所で研究中。共著に『変わりゆく EU 永遠平和のプロジェクトの行方』、『EU の規範とパワー』、検定教科書『公共』（東京法令出版）など。



東野篤子
筑波大学教授

第 5 回
6 月 22 日

中国軍はウクライナ戦争を
こう見ている

1978 年東京大学卒業後、陸上自衛隊入隊。外務省安全保障課出向、ドイツ連邦軍指揮幕僚大学留学、防衛研究所副所長、陸上幕僚監部装備部長、第 2 師団長、陸上幕僚副長を経て 2011 年に東部方面総監。2013 年退職後、富士通システム統合研究所長。2015 年ハーバード大学アジアセンター・シニアフェロー。著書に『米中戦争 そのとき日本は』、『中国人民解放軍の全貌』、『自衛隊は中国人民解放軍に敗北する!?!』、『日本はすでに戦時下にある』など。



渡部悦和
元陸上自衛隊
東部方面総監

第 5 回
7 月 20 日

8 月ジャーナリズムの読み方

1968 年愛媛県生まれ。日本大学法学部教授。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、NHK 広島放送局、報道局ディレクター、NHK 放送文化研究所主任研究員、日本大学法学部准教授などを経て 2019 年から現職。専門は映像ジャーナリズム論、メディア史。著書に『「八月ジャーナリズム」と戦後日本』、共編著『新放送論』、共編著『ローカルテレビの 60 年』、共著『メディアの地域貢献』など。



米倉 律
日本大学教授

第 6 回
8 月 24 日

電通に付度する
大手メディアの実態

1962 年東京都生まれ。89 年博報堂に入社し、約 18 年間営業を担当。2006 年同社退職後、在職中に発生した損金補填にまつわる詐欺容疑で逮捕・起訴され 1 年間服役。出所後『懲役』を知っていますか?』で作家デビュー。東京電力福島第一原発事故を機に、原発安全神話を作った広告を調査し原発推進勢力とメディアの癒着を追及。また、憲法改正国民投票や東京オリンピックにおける大手広告代理店のメディアへの影響力の実態を発信している。著書に『原発プロパガンダ』、『東京五輪の大罪』など。YouTube チャンネル「一月万冊」で政治問題を解説している。



本間 龍
ノンフィクション作家

第 7 回
9 月 28 日

ウクライナ戦争が変えた
ドイツと NATO

1964 年神戸市生まれ。86 年京都大学法学部卒。89-91 年ベルリン自由大学留学。94 年京都大学大学院法学研究科博士課程修了。京都大学法学部助手、在ドイツ日本国大使館専門調査員、政策研究大学院大学准教授などを経て 2009 年より現職。専門は国際政治学、ドイツ政治外交史。博士 (法学) (京都大学)。著書に『ドイツ再軍備』、『核の一九六八年体制と西ドイツ』、編著『核共有の現実 NATO の経験と日本』、共編著『Joining the Non-Proliferation Treaty』など。



岩間陽子
政策研究大学院大学
教授

第8回
10月26日

危険地報道の意義とフェイク



須賀川拓
TBS テレビ
中東支局長

1983年東京都生まれ。慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス卒業後、2006年TBSテレビ入社。2010年より報道局に勤務し、19年から中東支局長、ロンドン在住。20年のイラン国会議員選挙やバイルート港爆発事故取材した。21年にはガザ地区とイスラエルから紛争と住民の状況を伝えた後、アフガニスタンに入り、タリバン政権の報道官とのインタビューで厳しい質問を畳みかけた。21年度のボーン・上田国際記者賞を受賞。22年3月にはロシア・ウクライナ戦争をキーウから報じた。監督作品に『大麻と金と宗教 レバノンの“ドラッグ王”を追う』、『戦場記者』。

第9回
11月16日

現代世界の戦争と日本外交



篠田英朗
東京外国語大学教授

1968年神奈川県生まれ。専門は国際関係論。現在、東京外国語大学総合国際学研究院教授。早稲田大学政治経済学部卒業、同大学院政治学研究所修士課程修了。ロンドン大学(LSE)で国際関係学Ph.D.取得。広島大学平和科学研究センター准教授などを経て現職。著書に『平和構築と法の支配』(大佛次郎論壇賞)、『国際社会の秩序』、『「国家主権」という思想』(サントリー学芸賞)、『集団的自衛権の思想史』(読売・吉野作造賞)、『戦争の地政学』など多数。

第10回
12月21日

台湾政治の報道と実態



りゅう いえん ぶ
劉 彦甫
東洋経済新報社
解説部記者

1994年台湾台北市生まれの客家系。長崎県立佐世保南高校、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、修士(ジャーナリズム)。専攻はアジア国際政治経済、東アジアジャーナリズム。2018年東洋経済新報社に入社。電機大手や電子部品の担当記者を経て、現在は解説部で台湾や中台関係、マクロ経済を担当。

第11回
1月25日

今年の北朝鮮



儀崎敦仁
慶應義塾大学教授

1975年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部在学中、上海師範大学で中国語を学ぶ。慶應義塾大学大学院修士課程修了後、ソウル大学大学院博士課程留学、在中国日本大使館専門調査員、外務省第3国際情報官室専門分析員、警察大学校専門講師、東京大学非常勤講師、ジョージワシントン大学客員研究員、ウッドロー・ウィルソンセンター客員研究員などを歴任。総合旅行業務取扱管理者。著書に『北朝鮮と観光』、共著『新版北朝鮮入門』、共編『北朝鮮と人間の安全保障』など。

第12回
2月22日

選挙は楽しく、素晴らしい



島山理仁
フリーランス
ライター

1973年愛知県生まれ。早稲田大学第一文学部在学中の1993年、雑誌を中心に取材・執筆を開始。大川興業の大川豊総裁と選挙現場を回り『日本インディーズ候補列伝』の取材・構成を担当した。2017年、『黙殺 報じられない“無頼系独立候補”たちの戦い』が開高健ノンフィクション賞を受賞。他の著書に『コロナ時代の選挙漫遊記』、『記者会見ゲリラ戦記』など。全国各地の選挙取材し、雑誌などに寄稿するほか、ラジオやインターネットテレビの選挙特集番組にも多数出演している。YouTubeチャンネル「hatakezo」配信中。

第13回
3月21日

オープンジャーナリズムの
成果と課題



堀 潤
ジャーナリスト
8bitNews 代表

1977年兵庫県生まれ。2001年NHK入局。「ニュースウォッチ9」リポーター、「Bizスポ」キャスター等、報道番組を担当。2012年、市民ニュースサイト「8bitNews」を立ち上げ、2013年NHKを退局。現在はTOKYO MX「堀潤 モーニング FLAG」、J-WAVE「JAM THE WORLD」のMCをはじめ、読売テレビ「ウェークアップ」、ABEMA「Abema Prime」などにコメンテーターとして出演。映画監督として2013年「変身 Metamorphosis」、20年「わたしは分断を許さない」を劇場公開。ボストンジャパン映画祭や京都インディーズ国際映画祭で受賞。国内外の取材や執筆など多岐に渡り活動中。早稲田大学グローバル科学知融合研究所招聘研究員。